

市場の理論

価格 P はどのように決まるか

企業、消費者は価格を所与として行動するが、この価格はどう決まるのか

価格 P は市場で決定される（市場経済）

↔ 計画経済

$$D(P^*) = S(P^*)$$

$D(P^*)$: 市場全体の需要関数

$S(P^*)$: 市場全体の供給関数

P^* : 均衡価格

市場の需要関数

- ・ 2 財のケース
- ・ 市場全体で n 人の消費者が存在
 $1, 2, 3, \dots, n$
- ・ 1 番目の消費者の第 1 財に対する個別需要曲線

$$d_1 = d_1(P_1, P_2, M_1) \quad M_i: \text{第} i \text{番目の消費者の所得}$$

2 番目 d_2

3 番目 d_3

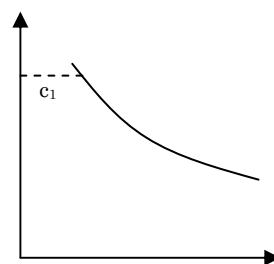
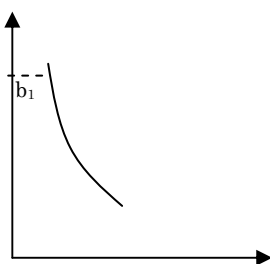
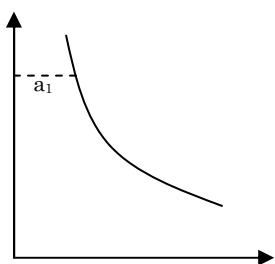
市場全体の需要量

$P(P_1, P_2)$ のもとで

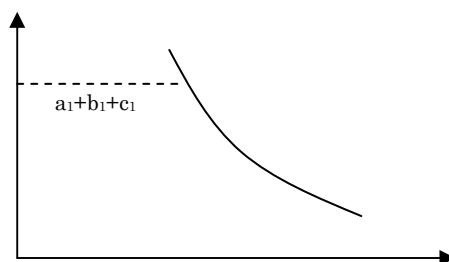
$$D(P_1, P_2, M) = d_1 + d_2 + d_3 + \dots + d_n$$

$$= \sum_{i=1}^n d_i(P_1, P_2, M_i)$$

第 1 番目の人の
個別需要曲線



市場全体の需要曲線



市場の供給関数

- 第 1 財の生産者に注目
- 生産要素は労働
- m 社存在
- 1 番目の企業の個別供給曲線

$$S_1 = S_1(P_1, w)$$

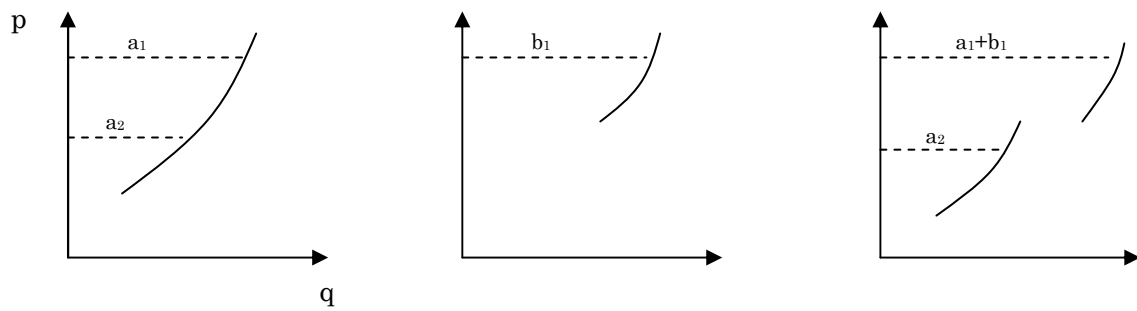
$$S_2 = S_2(P_1, w)$$

$$S_3 = S_3(P_1, w)$$

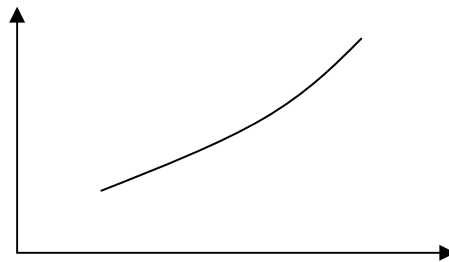
市場全体の供給量

一定の (P_1, w) のもとで

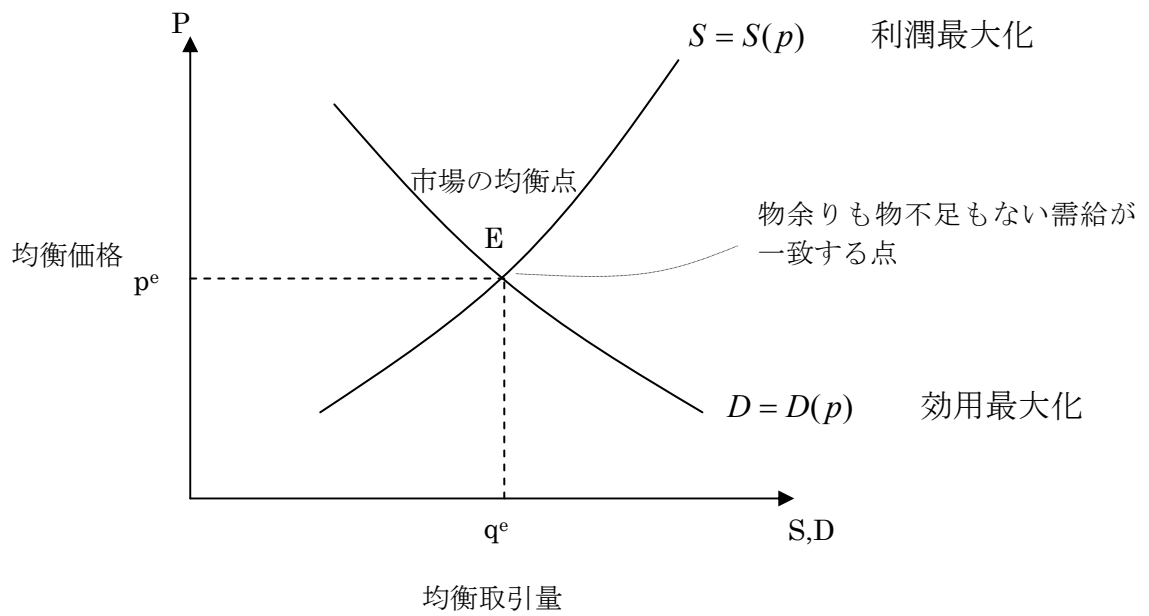
$$S(P_1, w) = S_1 + S_2 + S_3 + \cdots + S_n = \sum_{j=1}^m S_j(P_1, w)$$



市場全体の需要曲線

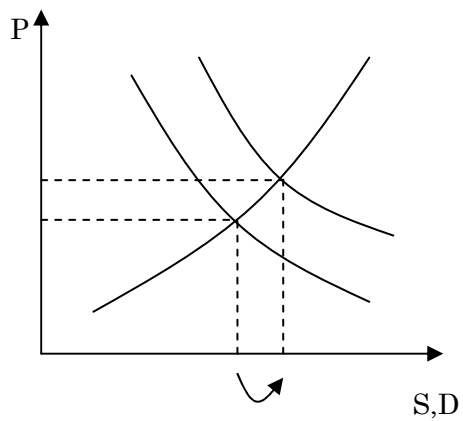


財市場のメカニズムは

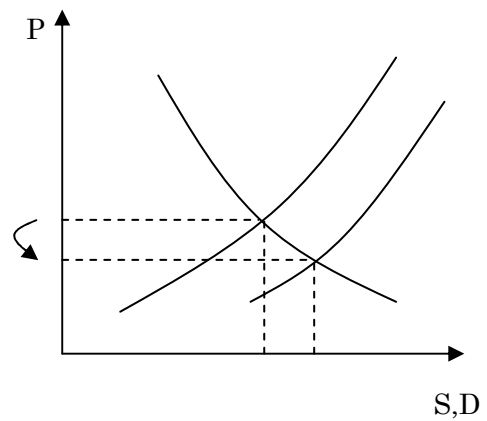


いくつかのケースを考えてみる

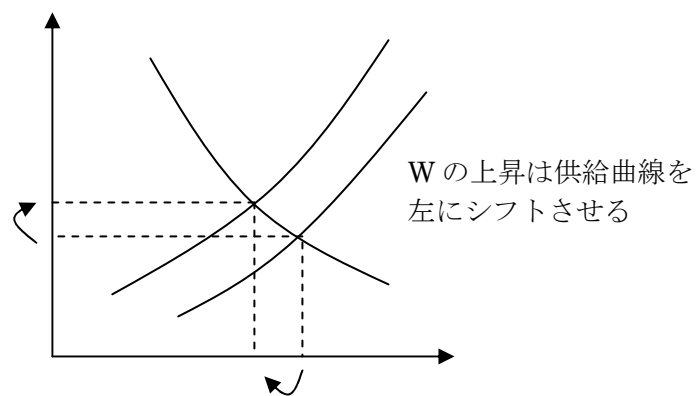
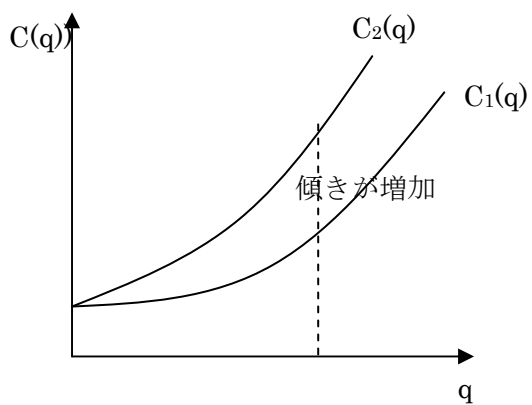
消費者数の増加



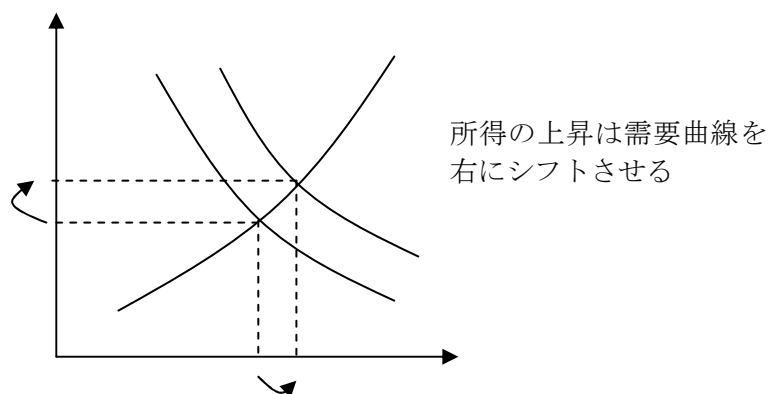
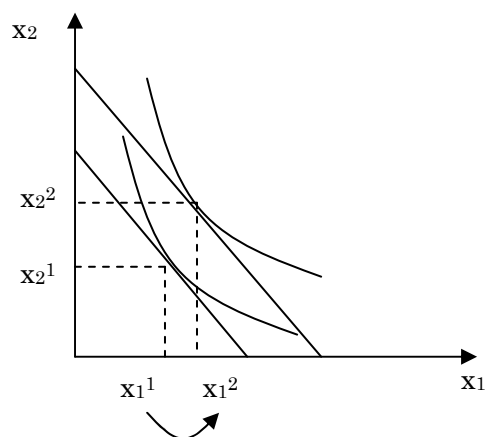
企業数の増加



さらにいくつかのケースを考える
賃金の上昇はどのような影響を与えるか



所得の上昇はどのような影響を与えるか

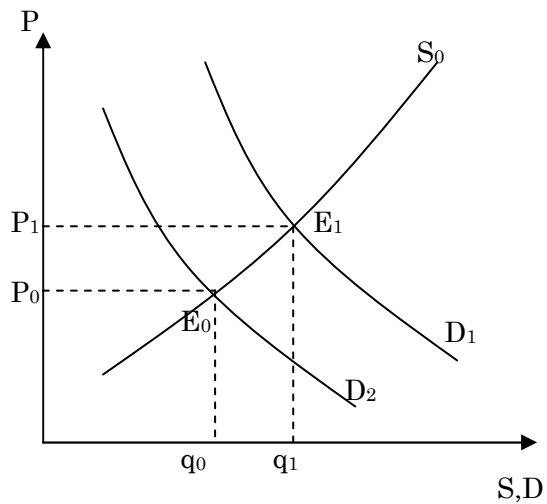


市場メカニズムについて

市場の調整

市場が均衡していない時にどのような調整がされるか

ケース 1



今、供給曲線 S_0 と需要曲線 D_0 の交点 E_0 で需給が均衡しているとする

このとき、需要が増大(消費者の増加、趣向の変化) して需要曲線が右にシフトしたとする。

このとき、 P_0 では需給は等しくなくなっている。そこでは P_0 の価格で望む量を変えない消費者が存在する→超過需要の状態

満たされない消費者は市場価格より高い価格を提示して財を手に入れようとする

最終的に価格は P_1 まで上昇して均衡する